



部長、1ヶ月休みください！

7月22日皆既日食

鹿児島県十島村近辺で

ふちんかん

部長！今年はガリレオが自作望遠鏡で天体観察を始めて400年、国際天文年であります。そして我が日本では皆既日食が観察できるのです。生まれて初めてですよ。部長もそうでしょ。なんせ国内での皆既日食は60数年ぶりですもんね。日中に真っ暗になるんですよ、星が見えるんですよ！楽しみですね。

部長、ここでさらっとおさらいしておきますとですね、日食するのは太陽と地球の間に月が入り込むことによって起こります。知ってますよね。でも月と太陽の見かけの軌道はちょっとずれているので、いつも太陽と月が重なるわけではないのです。多くて年に4～5回でしょうか。でそのときは日食になるわけですが、太陽の光をさえぎる月の影は地球の一部でしか観察できませんし、自分のいる場所が日食の時に昼間であるかどうか、だから日食そのものが貴重なんですよ。しかもですよ。完璧に太陽の光を隠す部分(本影)は貴重も貴重。世界中を移動しない限りは一生に一度の経験となるわけです。どうです。部長もことの重大さがわかってきたでしょ。

で、偶然日食の影(本影)がちょうど通るとしましょう、それでも皆既日食にならない場合があるんです。部長、ちゃんと聞いてくださいよ。地球からみた太陽と月の大きさは距離と大きさの関係でほぼ同じなので、ちょっとでも月が地球から遠ざかっていると月の方が小さくなって見え、太陽の周りだけが光る金環日食(通称ダイヤモンドリング)になってしまいます。これはこれできれいなのですが、皆既日食のように真っ暗にはならない。星は見えないのです。

それが！現在、月は地球に接近している期間でして、今年の日食は完璧な皆既日食です、時間も6分以上続きます。これはもう！生涯に一度どころか100万回生きた猫じゃないと経験できないくらい貴重な天文ショーなのです。

どうです！すごいでしょ。ただ残念なことに大阪では皆既ではありません。8割くらいしか欠けんのです。たぶん雨曇り程度の暗さにはなると思うんですが。

ということでね、忙しい部長の代わりにね十島村行ってきますからご安心を。なんせ週に1回しか船のない島々ですからね。私20年ほど前に行きましたがすごい僻地ですから。近ツリが独占契約してて一人40万かかるので、これ経費でお願いします。抽選は通ってますから、ご心配なく。それと台風なんかで帰ってこれないこともあるんで念のため1ヶ月休みください。

はい、決済の判はこちらに。え、部長、これ退職願...